

陳情書

令和5年7月19日

『ワクチン接種券の送付の廃止とインフォームドコンセントの徹底に関する申し立て』

陳情の趣旨と理由

メディアは報じていませんが、コロナワクチンは接種率世界一の日本国民が、世界一のペースで死亡しています。打てば打つほど比例して死亡者が増加しています。

また、ワクチン後遺症に苦しむ方々が増えています。2023年4月の厚生労働省・分科会発表では、ワクチン接種後にお亡くなりになられた方は2059人、後遺症で苦しむ方は36,317人、重篤者は8528人となります。

現在、新型コロナワクチン接種による「健康被害救済制度」の申請受理数が既に7,700件を超えています。さらなる増加の一途をたどっています。厚生労働省では申請の着手が追い付かず、救済を受けられずにいる方が4,700人以上もいます。

4月5月のワクチン後遺症の平均年齢は24歳弱です。10代も大変に多いです。

日本は、世界にくらべて圧倒的に多い接種回数となっています。海外の各国では、国民が危険性に気づき2~3回で接種は止めました。日本だけがワクチンによる被害を無視したままで、4回5回6回と追加接種を続けています。

国の方針に従うだけでなく、町議会が自分でこの結果を良とするのか？この町で接種券を送り続けることは今後ワクチンへの誘導となります。2年経って結果の出たワクチンに対して責任を議会として取れるのでしょうか？

コロナワクチン訴訟もいよいよ始まりました。

1. 陳情書内容

- ① コロナワクチン接種券を全町民に不送付にと働きかけをお願い致します。
- ② コロナワクチン接種に対して医療機関、特に医師はインフォームド・コンセント「説明を受け納得したうえでの同意」があって接種したかを医療機関に確認してほしいし、今後は丁寧にインフォームド・コンセントを接種者にはして下さるよう町に働きかけをお願い致します。

大磯町議会議長様

陳情書者

氏名

住所

電話

磯山利華子

大磯町西小磯 631 番地 10

080-3558-2141